

## 優秀賞

# こだわりの歴史を追究する総合的な学習 「温故知新」の実践

兵庫県小野市立小野東小学校 もと き こう ぞう  
元木幸三

## 1 はじめに

本校では研究主題として「学び合い、高め合う総合学習の創造」を、また副主題として「伝え合う活動を大切にしながらやきタイ夢」を掲げて取り組んできた。友達と親と地域の人と先生と共に学び、交流して高め合う中で、自分の生き方を追究していこうという意味である。

そして自分の学びを友達に、多学年の児童に、親に、先生に地域の人達にいるんな方法で伝えていく活動を大切にしてきた。このような学習の中で、主体的に取り組む子ども達は、いつも何かに興味を持ち、はてな？の心を持ち、そして夢を描くだろう。私達教師は、そんなことを期待してこの6年生の「温故知新」という実践に取り組んだ。この単元をいかに創造していったかを述べたい。

## 2 メインテーマの決定

6年生は社会科の歴史学習を通して歴史に興味を抱いている。総合でどんなことを学習したいかというアンケートに対しても歴史に関することが多く出されていた。そこで子ども達と話し合っ、社会科の歴史学習から発展して「こだわりの歴史」を追究することにした。そしてこの「こだわりの歴史」追究の学習のメインテーマを「温故知新」と名づけることにした。「古きを訪ね、新しきを知ろう。」という精神で取り組むことを共通に理解し合った。

子ども達は興味・関心に基づいて17のグループに分かれ、それぞれの班がサブテーマを決めて協同で研究を進めることにした。クラスを解体して、学年全体で取り組むことにした。

## 3 全体構想

1年間を通して、総合のスタンスを守り抜くことを教師も子どもも共通理解して、次の方針を立てた。

- ・最初に子どもありきの姿勢を学校生活のあらゆる場面とする。
- ・課題追究の姿勢を総合的な学習以外の教科、特別活動、その他の学校生活中でもとる。
- ・卒業論文という形に総合の一年間の取り組みをまとめることを最終目標にして活動を充実させていく。
- ・総合的な学習を進める上での創意・工夫を教師も子どもも常に考え、出し合っていく。
- ・消極的な子どもや、自分を見失いそうな子どもにいつも視点を当てて、支援していく。

以上のことを踏まえ、「こだわりの歴史」を追究していく過程を4段階に分け、1学期から3学期までに配分した。

### 第一段階

こだわりの歴史について調べ、「トライやるデー」というものを設定し、地域へ足を運んで地域の名人と触れ合いながら体験を通して学び、体験を通じたからこそ得られる知をまとめ、ポスターセッションで交流発表する。地域へ出かけるときは、サポーターとして、

保護者にも参加してもらい、親子で学習できるように工夫する。尚、名人への交渉やサポーターとしての保護者への交渉は切実な問題として子ども達自身がとらえ、子ども達自身で全て行う。この交渉こそ「生きる力」につながるものと考えた。もちろんその交渉についてのフォローは教師が行う。

#### 第二段階

「デイキャンプ」というものを設定し、こだわりの歴史に関する具体物を制作し、その過程での苦労や工夫を通して先人の努力を知る。このときは地域の名人をゲストティーチャーとして学校に招き、触れ合いを大切にしながら創作活動を展開する。時間を確保するために一泊二日でキャンプをしながら活動を進める。今回もサポーターとして保護者の協力を得るが、ゲストやサポーターへの交渉は全て子ども達が行い、教師はフォローに回る。

2回目の交渉ということで前回よりもうまくできるのではないかと期待した。

#### 第三段階

こだわりの歴史にちなんだ制作物を体育館いっぱいに表示して「歴史ミュージアム」として発表会を開く。ここでもポスターセッションで発表し、他の班と交流しながら「温故知新」の精神に迫る。他の班のテーマと関連づけた発表も期待したい。この時のポスターセッションも2回目だから、前回のポスターセッションの反省を生かせると考えた。

#### 第四段階

1年間の学習の成果を卒業論文にまとめて一冊の本を仕上げる。そしてその本を友達と交換して読み合ったり、他学年の児童に読み聞かせたりして、伝え合いを図る。

## 4 | 活動内容

### 第一段階の取り組み

こだわりの歴史について本やインターネットで調べていく中で、知識の限界にぶつかる。

その時、子どもたちは、その次の段階として「直接体験」を望むようになった。つまり写真や絵よりも本物を見たい。触れたい。と願うようになったのである。その思いは日増しに募り、「何としてでも地域の現場に行きたい。」と切望するようになった。その「切実さ」が感じられたときに教師の学習支援として「トライやるデー」というものを提案した。「平日の授業の代わりに好きな所に行かせてあげるから、どこでどんなことを体験し、研究するのか、又、名人として誰に依頼するのかという計画を立ててみよう。」と投げかけたところ、子ども達は目を輝かせて計画を立て始めた。「名人への交渉も自分達ですなんだよ。」と言うと、「えー。」と驚きながらもうれしそうに、やる気に満ちた表情をしていた。訪問先へ電話をかける時、メモを片手にどきどき緊張しながらかけていたが、(写真1参照)交渉成立した時は、友達と抱き合っただけで喜んでいた。このときのメモ自体、ポートフォリオになるし、この交渉こそ生きる力に直結していると評価しながら、子ども達を誉めた。



写真1 / 電話で交渉

トライやるデーは、平日に丸一日かけて行うことに意義があるし、ここで得た知識は「トライやるデーならではの知」としてまとめることができる。活動に保護者を巻き込むことにも大きな意義があり、このような支援ができたことに満足している。

子ども達は、(資料1)の表のようにいろんな所に出かけ、生き生きとした体験活動を展開し、帰校後、一気に成果をまとめ上げた。このときは「発表を意識してまとめよう。」

という指示をして、まとめ方を工夫させた。これも教師支援である。

トライやるデーの様子については、(写真2~5)を参照。

班	サブテーマ	実施場所	住所	集合時刻・場所
1	戦争(武器)	好古館	小野市西本町	9:30 好古館
2	戦争(生活)	好古館	小野市西本町	9:30 好古館
3	野球(グローブ)	ゼット株式会社	大阪市天王寺区	7:20 学校
4	野球(バット)	神戸屋スポーツ	三木市末広町	10:00 神戸屋
5	サッカー	アシックス工場	大阪市天王寺区	7:20 学校
6	生き物(ねこ) (犬) (魚)	小野動物病院	小野市本町	9:00 病院
		姫路警察犬訓練所	姫路市	8:00 学校
		柳月ペットセンター	小野市王子町	9:30 柳月
7	生き物(昆虫)	伊丹市昆虫館	伊丹市昆陽池	8:00 学校
8	文化遺産	浄土寺	小野市浄谷町	9:00 浄土寺
9	道具	末廣そろばん	小野市市場町	9:00 末廣算盤
10	文字	神戸書道塾	小野市西本町	9:00 神戸塾
11	乗り物	ネットヨタ三木	三木市大村町	9:00 ネット
12	遊び	好古館	小野市西本町	9:00 好古館
13	衣服	藤田洋品店	小野市西本町	9:00 藤田
14	食べ物	赤穂市海洋科学館	赤穂市御崎町	8:00 学校
15	人物	小野市役所市長室	小野市王子町	8:30 学校
16	暮らし(仕事)	西脇市郷土資料館	西脇市西脇	9:00 資料館
17	暮らし(環境)	人と自然の博物館	三田市弥生が丘	8:00 学校

資料1 / トライやるインフォメーション



写真2 / 書道塾で文字調べ



写真3 / そろばん工場で作制



写真4 / 小野市長にインタビュー



写真5 / 警察犬訓練所で犬を研究

### トライやるデーの感想

[文字の歴史を追究して] 6年1組 A.N  
習字の先生の家で質問したら、先生は思ったよりいろんなことを知っていた。文字が日本に伝わった時期、パピルスのこと、文字の種類等たくさんを教えてくださいました。一番「あっ。」と思ったのは体験だ。先生が昔の文字で「温故知新」と書いてくれた。みんなもいろんな文字で「温故知新」と書いた。しかも羊の毛でできた筆を使って書いたりもした。和紙もいろいろ、文鎮もいろいろ使ってみた。こんな体験がいっぱいでき幸せだった。

発表はポスターセッション方式を採用したが、その時の留意点として以下のことにポイントを置いて練習しようと呼びかけた。  
(セッション側)

- ・資料や写真，具体物を豊富に展示する。
- ・トライやるデーの体験中心の内容にする。(借り物は迫力に欠ける。)
- ・クイズ，穴埋め問題，手触りコーナー，立体化コーナー等を工夫する。
- ・三段論法を明確にする。(なぜ調べたか。内容はこうで，結果はこうだった。)
- ・関西弁のしゃべりを生かす。(それでな，ちょっと待ってな。こっち見てや等。)
- ・衣装や小道具も工夫し劇化する。

(ゲスト側)

- ・質問をすることによって深めていく。
- ・メモはとるが，聞くことに専念し，さりげなくメモをとる。
- ・自分の発表に取り入れることができる部分に注目する。
- ・メッセージカードに感想や意見を書いてセッション係と交流する。



写真6 / 中間発表

このようにポスターセッションを充実させ、「温故知新」の学習の中間発表として，校内授業研究会，参観日を兼ねて行った。(写真6)子ども達は多くの人に見られて一層張り切って発表していた。

「ポスターセッションをして」

6年2組 S.Y

初めて説明された時から「おもしろそうやな。」と思っていた。説明するのがおもしろかった。特にお客さんが「うんうん。」

とうなずいたり，質問してくれたりすると，うれしくなって，もっとがんばりたくなった。お客さんに体験してもらおうとたくさん集まった。

### 第二段階の取り組み

中間発表の後，子ども達と相談して，それぞれの班のこだわりの歴史に関する具体物を制作することにした。つまり，バットの歴史を調べた班は，1本の木材からノミとカンナでオリジナルバットを作りたくなったし，グローブの歴史を調べた班はグローブを作りたくなった。衣服の班は簡単な機織りの機械を作り，織物を作りたくなった。文字の歴史を調べた班は，墨，紙，筆を手作りして昔の文字を書いてみたくなった。縄文土器を野焼きで作りたくなった班もあった。何と小野市長の歴史を調べた班は，市長の実物大の人形を作りながら人物像に迫りたくなった。

つまりどの班も自分達のサブテーマにちなんだ具体物を制作しながら，さらに深くテーマを追究しようと考えたのである。このような発想は教師の考えをベースに子ども達との話し合いによって創造していくものであり，この創造こそ総合的な学習推進においてキーポイントとなる。今回は教師の支援として「デイキャンプ」を設定し，学校で宿泊しながらたっぷり時間をかけてよい物を制作してもらおうと考えた。

子ども達は，トライやるデーの経験を生かして，地域の名人への交渉や保護者へのサポーター依頼を行った。電話交渉にも慣れて流暢に話していた。電話をかけている姿を見ると，確実に力をつけていることを確信した。この実践では，前回の体験を生かしてもう一度トライできることが長所となっている。



写真7 / 浄土寺模型作り



写真8 / 巨大虫かご作り



写真9 / 市長の人形作り



写真10 / 土器の野焼き

このようにして、運動場、体育館、特別教室、校庭、中庭等、学校のいたる所で制作活動が行われ、子ども達と地域の方々と保護者、そして教師が一体となって「デイキャンプ」が展開されたのである。十分な時間と十分な人材を背景に子ども達は、すばらしい制作物を仕上げていった。あまりにも珍しく、ダイナミックな活動だけに新聞社もいくつか取材に来られた。デイキャンプの詳細はデイキャンプ一覧表(資料2)に載せている。またデイキャンプの様子は(写真7-10)でつかんでいただきたい。

班	サブテーマ	活動内容	準備物	場所	ゲストT	サポーター
1	戦争(武器)	体験談を聞く	ビデオ	視聴覚室	内藤, 加賀	河村, 多鹿
2	戦争(生活)	紙芝居作り	布, 紙等	視聴覚室	小林, 市橋	藤井, 徳原
3	野球(グローブ)	グローブ作り	裁縫道具, 布	家庭科室	河島	森, 藤井
4	野球(バット)	バット作り	木材, のみ	体育館	中垣	大垣
5	サッカー	昔のスパイク作り	板, くぎ, 紐	体育館	多鹿	藤原
6	生き物(犬) (魚) (猫)	模型作り 環境模型作り 模型作り	絵の具, 新聞 絵の具, 新聞 絵の具, 新聞	図書室 図書室 図書室	小林 奥田 奥田	村山 松村 松村
7	生き物(昆虫)	巨大虫籠作り	大工道具	体育館	西尾	松尾
8	文化遺産	浄土寺模型作り	発泡スチロール	体育館	西田	市橋, 田中
9	道具	そろばん作り	木, ひご等	図工室	多鹿	井上, 梶本
10	文字	墨, 紙作り	木炭, 草等	運動場	西田	内藤, 琉
11	乗り物	エンジン分解	エンジン	運動場	兵頭	浅見, 高橋
12	遊び	昔のおもちゃ作り	竹, 紙, 草	図工室	富田	吉本, 広本
13	衣服	服作り	裁縫道具	家庭科室	長谷, 田中	佐藤, 岩崎
14	食べ物	野草料理作り	草, 鍋等	家庭科室	森	出井, 那須
15	人物	市長人形作り	マネキン, 鬘	体育館	井上	松本, 山本
16	くらし(仕事)	かかし作り	わら, 布等	図工室	河島	足立
17	くらし	土器野焼き	粘土, 木材	運動場	西田	山田

資料2 / デイキャンプ一覧表

デイキャンプの感想 「折れた」 S.I  
テントの布でグローブを作ろうとした。トライやるデーでお世話になったゼットの会社で作り方が書いてある紙をもらっていた。教頭先生に手伝ってもらいながらテントの布を2枚ぬい合わせて、中に綿を入れてまたぬっていくとミシンの針が折れた。今度は手でぬっていくとまた針が折れた。こうやって何度も折れたけど2日目にやっと完成した。

デイキャンプの感想  
「平和を学んだデイキャンプ」 I.F  
一番印象に残ったのは小林さんのことです。鉄砲の玉が当たって足の中に入っていた所を見せてくれました。「うー、かわいそう。」と心が叫びました。加賀さんの見せてくれた戦争のパネルやビデオは引き込まれそうになった。戦争体験者の話を総合してその晩に戦争のこわさを伝える紙芝居を作った。今が平和であり幸せであることを実感できた。

### 第三段階の取り組み

デイキャンプで熱心に作った制作物を体育館いっぱい展示して「歴史ミュージアム」を完成させた。ここに子ども達の「こだわりの歴史」が終結されたのである。各コーナーでは、制作物と共にトライやるデーでまとめた模造紙も展示し、ポスターセッションでの説明も行った。2度目のポスターセッションということもあり、また自分達が丹精込めて作った制作物ということもあってかなり熱の入った説明ができていた。これまでお世話になった地域の方々や保護者、他校の先生方、そして市長も招いての大規模な発表会となった。等身大の人形を見に市長もかけつけて下さり、あまりにも似ていることに感激された。市長の人形を作りながら市長の顔やしぐさに市長の生きかたや考え方を反映させたと子ども

も達は主張した。その主張に市長はまた感動され、市長室にその人形を置いてくれることになった。小野市の市長室ではこの人形が今も来客に笑顔を注いでいる。これぞ大胆且つ緻密な総合の学びと言えるのではないだろうか。(写真11)



写真11 / 市長室に人形を飾る

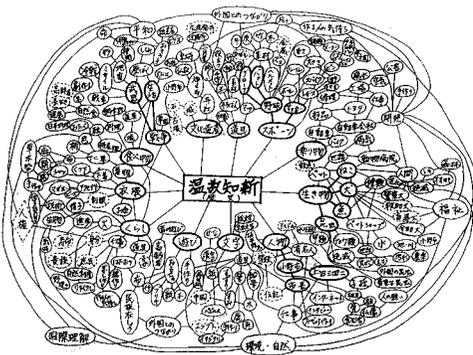
犬の歴史を調べた班は介助犬を招いて介助の実演を行った。虫の班は巨大虫かごを(高さ2m)を作って中に土や草を入れて自然環境そっくりにして飼った。乗り物の歴史班では、バイクのエンジンを細かく分解して並べた。このように歴史ミュージアムには子ども達の「こだわりの歴史」が満ちあふれ、子ども、保護者、地域の人達、教師の笑いがこだまりました。(写真12~13) この発表会の最後で子ども達は互いの学びを交流する話し合いを持った。その話し合いの中で「こだわりの歴史を学んでいるうちに環境問題にたどりついた。」とか「国際理解にたどりついた。」という言葉があった。こだわりの歴史をたどっていくと今日的な課題に結びついていくことがわかったのである。ウェビング図(資料3)を見ると、そのことが一層鮮明になる。



写真12 / 文字グループの発表



写真13 / 介助犬の実演



資料3 / ウェビング図

#### 第四段階の取り組み

トライやるデー、中間発表、デイキャンプ、歴史ミュージアムと体験中心の活動をしてきたが、これらをやっばなしにしないためにも何らかの形でまとめておく必要がある。そこで「卒業論文」という形でまとめることにした。論文というきちんとした体裁を整えな

がらも、小学生らしくのびのび書いてくれることを望んだ。

#### (支援のポイント)

- ・これまでためているポートフォリオを生かし、自分しか知り得ない内容に気づかせる。
- ・記録の写真をどんどん取り入れる。
- ・模造紙に貼って発表に使った物を再利用する。
- ・論題、要約、序文、方法や材料、結果、考察、結論、謝辞や参考文献等論文としての体裁を整える。
- ・原稿用紙100枚の論文を目指す。

このようにして卒業論文に挑戦していったが、活動の充実そのまま論文の充実にもつながった。学習の最終目標として卒業論文を書くということは早い段階から認識していたので、当たり前のように自然に入っていた。子ども達は活動の途中でも論文を書くことが念頭にあるため、さらに活動を工夫、充実させようと努力させた場面もあった。総合的な学習を這い回るものにしなないためにもこのように「自分の学びをまとめ、確かめる。」という作業は大切にしていきたい。(写真14)



写真14 / 卒業論文の完成

#### その他の総合について

こだわりの歴史「温故知新」を追究していた子ども達は、その他の教科、学校行事でも総合的な学習を生かした取り組みができた。その一つが修学旅行である。

奈良京都への修学旅行は次のような展開となった。

- ・東大寺の住職に交渉して大仏の前で「お経体験」をする。(写真15)
- ・外国人にインタビューして日本と戦争をした国の人はどんな人かを確認する。
- ・奈良公園の鹿について調べる。
- ・京都の銘菓「八橋」を作ったり、漬物を作ったりする。

このようにガイド等の要らない子ども主体の活動的なものとなった。



写真15 / 東大寺でお経体験

## 5 | おわりに

[温故知新]という一年間の総合的な学習を振り返って、子ども達にどんな力がついただろうか。ずばり「問題発見力」「問題解決力」「応用力」「交渉力」「表現力」等が身についた。そして常に子ども達が前を歩き、教師は後ろから支えるというスタンスをとることができた。卒業式もこの「総合のスタンス」で行い、子ども達はステージから登場し、一人ひとりが「総合」で作った物を持って自分で考えたせりふを言い、自分達で作詞、作曲した歌を歌った。借り物の歌ではない自分達の「総合」の歌を歌った。私達担任は、卒業の日の子ども達の姿に、今回の総合的な学習の成功を見た。